

1 題材名

『あれも！ これもすごいな！ 千葉港のひみつ』 <5年 社会科 地理的分野>
～世界とつながる国際貿易港である千葉港を考えよう～

2 授業のねらい

- ①千葉港は日本の有数の貿易の拠点であるが、社会科授業で取り上げられることは少ない。そこで、日本の輸出入の特色を、主に千葉港中央地区（千葉市部分）を取り上げて輸出入の様子やそのための施設を教材として授業を構成します。
- ②千葉港の様々な輸出入相手国を授業で取り上げることで、世界とつながる千葉港の特徴を理解してもらいたいと思います。

3 指導計画上の位置付け

- ◇学習指導要領社会科5年 内容（3）日本の工業生産 ア（ウ）「貿易や運輸の役割」と関連します。
- ◇千葉市5年社会科指導計画 11月単元「工業生産を支える輸送と貿易」の3・4時間目の「日本の輸入の特色・日本の輸出の特色」の2単位時間と関連を図った授業です。
- ◇国際貿易港である千葉港の中央地区（千葉市部分）に焦点を当てた1時間の授業です。

4 予想される授業の流れと指導資料

- ①千葉港湾計画図を使って、千葉港とは市川市から千葉市を通って袖ヶ浦市に続く広い地域であり、貨物取扱量が全国第2位の日本有数の港であることを確認する。しかし、本授業では主に千葉港の中央地区を主に取り上げて学習を進めていくことを伝えます。
- ②グーグルマップの写真から千葉港に入港する外国船・大型クレーン・コンテナを読み取り、黒板に貼った千葉港の拡大地図の上に、読み取ったイラストを配置します。
- ③千葉港は外国船による燃料関係の輸入が多い港であり、外国から船で運ばれてきた航空燃料は千葉中央地区の航空燃料専用のターミナルから陸揚げされて、成田空港まで繋がるパイプラインで運ばれている日本の空港の中の唯一の施設であることを資料から読み取り、千葉港と世界との結びつきを理解します。
- ④ガントリークレーン（大型の陸揚げ用）の写真や動画から、千葉港は大量のコンテナで多くの物資が運び込まれたり、運び出されたりする物流の一大拠点であることを考えます。
- ⑤千葉港のワークシートに今日の学習で気づいたことや思ったことを書き、発表します。

<活用する資料>

- ◎千葉港湾計画図 ◎「千葉市の海辺」千葉市発行冊子
- ◎千葉港貿易概況（千葉税関発行） ◎成田空港のあゆみ（成田空港発表）
- ◎動画・写真各種 ◎令和2年度版千葉市統計書（千葉市発行）

5 指導上の留意点、その他

- ◇千葉港中央地区は、世界と結びついた日本の代表的な国際的な貿易港であることを学習して千葉港から日本の貿易の様子について理解を深めていきたいと思っています。
- ◇動画や地図や写真を効果的に活用して、児童にわかりやすい授業を心がけていきたいと思っています。
- ◇千葉港が日本有数の貿易港であることを学習することによって、千葉市の工業都市としての側面を考えていきたいと思っています。